

瀬戸内トラストニュース

第71号 2019年5月

環瀬戸内海会議事務局 700-0973 岡山市北区下中野 318-114 松本方 Tel&fax 086-243-2927

環瀬戸内海会議第30回総会 6月29(土)~30日(日) 岩国市で開催



環瀬戸内海会議が1993年、岩国市の米軍基地沖合移設より、瀬戸内海でも有数の藻場が埋め立てられようとしていることに反対して、岩国市で集会を開催。上の写真は、その折の発案で作成した当時の岩国市長あて沖合移設による藻場喪失を止めるよう要請したハガキです。

残念ながら米軍基地の沖合移設を止めることはできず、藻場は埋め立てられてしまいました。国は、藻場の一部移植を環境保全対策として図ったはずですが、その検証は進められたのか？私たち

自身にも課せられた課題と思っています。

さらに、岩国市では空母艦載機の移転、オスプレイ配備と、基地機能が增强され、埋立て土砂採取地・愛宕山には米軍住宅建設のための造成が進められたが、とん挫。国が用地を買い上げ、愛宕スポーツコンプレックスに化けています。

沖合移設の大義名分だった米軍機離発着による市街の「騒音被害」は、依然として解決されていません。岩国の今を一緒に学びたいと思います。

6月29~30日、岩国市にお出かけ下さい。

目次

沖縄・本部島ぐるみ会議の安和棧橋・本部港の闘いを支援しよう！	阿部悦子	2
沖縄県土砂条例の改正強化を求めて	末田一秀	5
《鹿児島》 世界自然遺産登録推薦地区・奄美大島に陸上自衛隊駐屯地が・・・	城村典文	6
《香川・愛媛》 坂出バイオマス発電・西条火力リプレース 意見書提出その後	吉岡賢二	8
石炭火電計画 舵を切れるか	松田宏明	9
書評 「もう『ゴミの島』と言わせない」	松本宣崇	10
海岸生物調査について（お願い）	坂井 章	11
環瀬戸内海会議第30回総会 in 岩国のご案内 各地からのご案内		12

沖縄の闘い！ 県内埋立て用石材搬出を許さない！

あわ 本部町島ぐるみ会議の安和棧橋・本部港の闘いを支援しよう！

環瀬戸内海会議共同代表 阿部悦子



●昨秋から3回目の「新基地反対の民意」

沖縄ではまたもや辺野古新基地に反対する民意が明らかになった。昨秋から3回目である。昨年9月、翁長知事の遺志を受け継ぐ玉城デニー氏がかつてない得票で新知事に就任、今年2月の「辺野古」県民投票では、その知事の得票を上回る43万4273票（得票者総数の約72%）で、「新基地反対」の民意をはっきりと内外に示した。

そして去る4月21日の衆院沖縄3区補選である。デニー知事の後継で新人の屋良朝博氏が、自民党公認の元沖縄北方領土担当大臣の島尻安伊子氏に勝利したのだ。これまでの選挙で辺野古問題を争点から外してきた自民党候補とは違って、ハッキリと「辺野古容認」を掲げて闘った島尻氏の敗退は、沖縄の民意をこれ以上ないほどに示すことになった。にも関わらず、である。官邸は相変わらず「辺野古が唯一」のお題目を繰り返し、辺野古海域への土砂投入を続け、強権政治を続行させている。

●「本部町島ぐるみ会議」の奮闘

このような中で、辺野古土砂全協の仲間である「本部町島ぐるみ会議」のみなさんの奮闘をご紹

介したい。今回の選挙でも本部町議会14人の議員のなか11人が辺野古埋立推進の立場をとるなか、たった一人の女性議員、仲宗根須磨子町議を中心に選挙応援が展開され、みごと屋良票が優勢の結果を勝ちとったのだ。ちなみに、昨年の市長選挙で稲嶺市長が敗退した名護市でも「島ぐるみ会議名護」の仲間の活躍により屋良票が島尻氏を圧倒した。



「本部町島ぐるみ会議」の活躍は沖縄県内でも多くの人々が注目する。この本部町には採石場が林立し、一昨年暮れ以降石材が本部港塩川埠頭から辺野古に船で搬出されてきたのだ。メンバー10人余りは雨の日も風の日も照る日も、日陰のない港で、石材が運ばれてくるダンプカーの前に立ち、

その搬出を遅らせるために非暴力の活動を繰り返してきた。その時間は朝の7時半から夕方6時まで。(私も昨年5月に参加したが、ほんの2時間の炎天下の活動でフラフラになったほど過酷だった)

●闘いは、塩川から安和栈橋へ

その本部港塩川地区の栈橋が、9～10月の台風によって崩れて船舶の使用が不能になったとき、私たちはどんなに喜んだろう。しかし、政府は埋立工事を遅らせまいと、昨年暮れ、3キロ先の名護市琉球セメント安和栈橋を本来の「目的外」に使用して赤土交じりの土砂を船に積み込み、辺野古への搬出を始めたのだ。



そこで「本部町島ぐるみ会議」は動いた。活動を安和栈橋に移したのである。早朝から夕方までの長時間、栈橋ゲート前での抗議行動は5か月にもなる。毎水曜日は、オール沖縄会議が統一行動日として沖縄全島から約100人以上が集まり、ゲート前のデモで土砂の搬出を遅らせてきた。しかし、水曜日以外は、約10人のメンバーがゲート

前に立ち、トラックナンバーや台数の記録なども行う。参加者が使う近辺のトイレの清掃やペーパーの補充を行うのも彼・彼女らである。今年2月に私もこの場所に立ち、この人々の無私の粘り強い活動に脱帽、感銘を受けた。一方、会の横断幕が盗まれたり旗が破られて捨てられたりする被害にもあっている。安和栈橋前には一晩中警備員も配置されているのに、である。

●衆院沖縄3区補選の勝利から4日目！

本部港塩川埠頭で搬出始まる

また、4月からは台風被害にあった本部港の修復がなされたとして本部町が栈橋使用の許可を出した。防衛省は4月25日より安和栈橋に加えて改めて本部港も同時に使用し、工事の加速化を狙っているのだ。海での工事を遅らせているカヌーチームのメンバーによれば、K8護岸が完成しない現状では、搬入のペースは今まで通りだという。諦めを誘い、恫喝のための塩川埠頭使用なのだとしたら、これも許しがたい。

メンバーの長期にわたる現場での抵抗運動を思うと、心が痛い。「洗濯する時間がない」「料理する時間がない」「人間らしい生活がしたい」などと嘆きながらも明るく逞しく闘う友人たちを、私たちはどう応援したらいいのだろうか。本土から支援の座り込みに来る人たちの多くは辺野古ゲート前にとどまる。交通の便も悪く時間のかかる安和栈橋や、もっと遠い本部港まで行く人の数が少ないことも、本部町島ぐるみ会議の人々の闘いを厳しくさせている。私たちは沖縄全土で行われている海域を含めた「抵抗運動」について学び、想像力を働かせなければならない。そして出来れば現地に足を運んでいきたいと思うのだ。

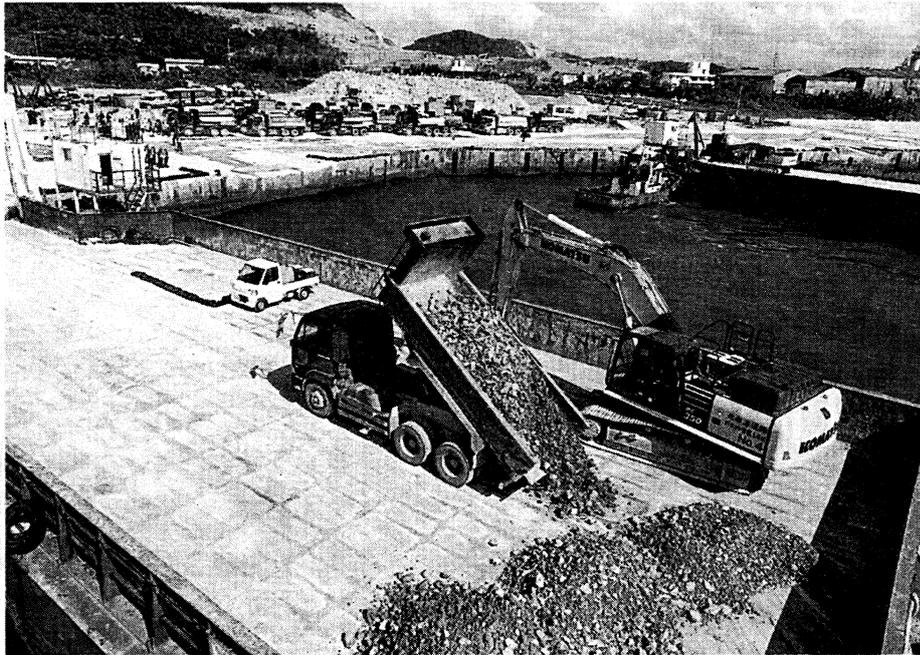
●環瀬戸内海会議は、本部町島ぐるみ会議へのカンパを呼び掛けています

ぜひともご協力をお願いします。

同封の振替用紙に「本部町島ぐるみ会議支援」とご記入のうえ、お振込みをお願いします。

本部港再び土砂搬出

政府強硬県の反発必至



本部港塩川地区に接岸した台船に、土砂を運び込むダンプカー＝25日午後3時25分（小型無人機で撮影）

名護市辺野古の新基地建設を巡り、沖縄防衛局は25日、本部町の本部港塩川地区から昨年8月以来となる埋め立て用土砂の搬出作業を再開した。接岸した台船にダンプカー24台が土砂を運び入れた。土砂は沖合で運搬船に移され、辺野古へ向かう。防衛局は従来から搬出に使用している名護市安和の琉球セメント棧橋と併せて使うことで埋め立て工事を加速させる方針。

（2・31面に関連）

辺野古埋め立て

新基地建設が争点となった21日の衆院補選では、移設に反対する新人が、容認派の自民党候補を破り当選したばかりで、政府の強硬な姿勢に、県が反発を強めるのは必至だ。

ただ、埋め立て面積は辺野古側を全て埋め立てたとしても、新基地建設全体の4分の1にとどまる。大部分を占める大浦湾側は軟弱地盤の問題を抱えている。

現在投入されている土砂の量は、全体の約1%とみられる。

塩川地区は昨年9～10月の台風の影響で岸壁が破損したため、岸壁や荷さばき施設の使用許可権を持つ本部町が使用を制限していた。修復は今年3月に完了し、町本部港管理事務所は同日、使用を申請していた業者に許可を出した。

港内では午前8時前から土砂を積んだダンプカーが連なり、搬出に抗議する市民が向かい合った。新基地建設に反対する市民約30人は搬出を止めようと車両前

に立ちふさがり、警備員や防衛局職員、県警の機動隊員とにらみ合いを続けた。

昨年の同地区からの搬出では機動隊が市民を強制的に排除していたが、この日は距離を置いて取り囲み、強制排除を控えていた。積み込み作業は午後1時半ごろまで5時間以上、膠着状態が続いた。

本部町からの土砂搬出について平良武康町長は「市民の間に感情的な対立があるのは残念だが、町行政の立場としては港湾法や県の条例に基づいて対応せざるを得ない」と述べた。



上図は 19・4・25 付 琉球新報 WEB 版より

沖縄県土砂条例の改正強化を求めて



環瀬戸内海会議顧問 末田一秀

沖縄に3頭しかいないジュゴンのうち1頭の死亡が確認された。個体Bの死体が確認されたのは西海岸であり、辺野古埋立の直接の影響ではない。しかし、残る2頭のうち埋立地の藻場に食み跡を残してきた個体Cは工事が始まった翌年2015年から行方不明、大浦湾湾口を生息域にしていた個体Aも2015年から湾口を離れ2018年10月から行方不明で、まさに絶滅が危惧される状況である。

環境省は、種の保存法の国内希少野生動植物種選定要件に該当すると国会で認めながら指定を行わず、藻場の保全（＝埋立禁止）などの保全策を何ら行ってこなかった。

このように国が沖縄の生態系保全を顧みない行為を続けるならば、ますます埋立土砂への外来生物混入を規制する沖縄県土砂条例の果たすべき役割は大きくなる。土砂条例は議員提案で成立した画期的な条例である。しかし、沖縄防衛局が埋立免許に違反する赤土混じりの土砂での埋め立てを違法に続けている現況に鑑みると、弱点がある。違反があった時には是正勧告し、それでも聞かなければ公表するにとどまる。勧告は相手に協力を求める行政指導であり、強制力がない。搬入停止を命じることができる命令規定を置き、従わない場合は罰則が適用されるようにして欲しい。

12月沖縄県議会には、沖縄平和市民連絡会や土砂搬出予定地の団体からその旨を求める陳情が出されたが、県当局は「県が違反への対応を勧告し、それを無視して搬入すれば外来生物法で罰することができる」との見解を示し、継続審議になってしまった。外来生物法の権限は大臣にあり知事にはないので、本当に法が有効なのか疑問である。否決されたわけではないので県政与党勉強会が開かれることになり、私も参加することになった。

そこで新たに提起したのが、沖縄県固有の生態系を保全するために外来生物法に指定されている

特定外来生物以外の侵略的外来生物を条例の対象に加えることだ。環境省が2015年3月に策定した「外来種被害防止行動計画」では、自治体に求められる役割として対策リストの策定や条例の制定を上げている。地域固有の生態系を保全するために必要であれば条例には当然命令規定を設けることができ、北海道の「生物の多様性の保全等に関する条例」では外来種を放つ行為の中止や原状回復などを命じることができる規定を置いている。

沖縄県は昨年8月に「対策外来生物のリスト」を策定しており、法に規定されていないホソオチヨウ、ヤンバルトサカヤスデなどは県外の土砂採取予定地域に分布が確認され、対策が必要だ。これなら県当局は否定できず、採択されれば条例改正へのきっかけになるのではと期待して3月議会に土砂全協から陳情を提出した。見込み通り県の見解は「今後、必要に応じて、特定外来生物以外の種の指定も検討していきたい」と前向だったが、陳情採択は全会一致の慣例がある県議会では「沖縄県にばかり役割を課すのはおかしい。各県が出さなければ良い」「特定外来生物以外に広げる余裕が沖縄県にあるのか」と慎重意見が相次ぎ、継続審議となってしまった。負担が増えるのは土砂採取事業者で、県に増えるわけではないのだが…

与党勉強会に先立って行った玉城デニー知事への面会で、知事は「土砂条例に命令等の規定を追加できないかという議論がありますが、関係部局の中でも議論を重ねています。是非、忌憚のないご意見を出して頂き、ご示唆を頂ければありがたい」と述べていた。今後とも取り組みを続けていきたい。



世界自然遺産登録推薦地区・奄美大島に 陸上自衛隊駐屯地が二カ所できる

自然と文化を守る奄美会議事務局長 城村典文

3月26日に奄美大島北部・奄美市大熊地区と南部・瀬戸内町節子地区に陸上自衛隊警備部隊とミサイル部隊が開設・配備されました。

大熊集落では15日にチャーター船と定期船で奄美入りした隊員達をその日のうちに、公民館で、市民約200人による歓迎会が催されました。奄美市長、大熊町内会長の歓迎のあいさつと駐屯地隊長のお礼のあいさつ。その後、駐屯地につながる集落内の公道を一時封鎖して、装甲車や高機動車、小型車両など12台の車列行進が行われました。沿道に集まった方々は、平日のためお年寄りが多く、日章旗や日の丸の小旗を振って歓迎しました。地元紙の取材に応じたお年寄りは「人の行き来が賑やかになるのはうれしいが、戦争を経験した身としては駐屯地に対する怖さも少しある」と、答えています。また、「抑止力の名の下に、新基地建設という憲法違反に住民を巻き込むのを目の当たりにした」と、危機感を持っている住民もいました。



奄美市大熊、日の丸・日章旗

一方、南部の瀬戸内町では開設行事の前日、3月30日(土)に町役場のある古仁屋市街地の目抜き通りを隊員約200人が音楽隊を先頭にパレードを行い、沿道住民は日の丸の小旗を振り、隊員らに続いて練り歩く様子も見られました。新聞取材に応じた親子の父親は「災害時に守ってもらいたい」

娘は「パレードの足がそろってかっこうよかった」と話していました。また動員されたい保育園児が、見慣れない隊員の物々しい隊列に日の丸の小旗を振っていたのが印象的でした。女性の親子連れが、迷彩服の隊員とのスナップ写真に収まる光景も多く見られました。



瀬戸内町古仁屋、園児たち

奄美配備過程を振り返ると、奄美大島北部の自衛隊誘致の是非を問う防衛省・地元自治体による説明会は全く行われませんでした。駐屯地工事は2016年9月に始まり、その3ヶ月前の6月4日に「自衛隊基地説明会」と銘をうって、「自衛隊駐屯地の概要・自衛隊の広報説明」を大熊公民館で一回行っただけです。奄美市議会が15年6月議会で自衛隊誘致決議を行い、防衛省へ要請行動を行った時点では、「災害救助のための部隊要望」であり、防衛省からミサイル部隊配備等の話は聞かされていなかった事が明らかになっています。

一方南部、節子地区駐屯地については、瀬戸内町当局と議会が、これまで海上自衛隊分屯地の規模拡大と増員を求め、毎年要望していたことは事実ですが、陸上自衛隊配備は「寝耳に水」で、駐屯地建設予定地の町所有地も、個人に貸与していて賃貸契約解除に慌てたようです。瀬戸内町では、

駐屯地と関連する集落へは自衛隊説明会をおこなった模様でした。しかし、軍事施設の誘致なら、奄美大島全島民への説明を行うのが当然の手続きだと思います。

奄美市長、瀬戸内町長は、「防衛は国の専権事項、一自治体がものをいうものでない」の立場を取り、防衛省の言う奄美を取り巻く安全保障上の観点から、自衛隊駐屯地配備に理解を示していた。

駐屯地開所あいさつで、防衛省は、「南西諸島の防衛の空白地域をなくす奄美への配備で、抑止力を高めるためにミサイル部隊も配備した」と説明する。これまで軍事基地のなかった島に、防衛力強化の名の下にいたずらに、国民の血税を防衛予算につぎ込んでいるようにしか思えません。

日の丸の小旗を振る島民は、まだ、自衛隊を軍隊と見る人は少ないようです。100年、50年に一

度の洪水災害にすぐに駆けつけてくれる救助隊と
思っている方がほとんどのようです。

二つの基地は、島民の目につかない緑豊かな奥山に建設されています。配備後すでに、地対空ミサイル、地対艦ミサイル部隊が始動を始めています。また警備部隊が装備する小型中距離多目的誘導弾(ミサイル)の日常的訓練を行なっています。

もう既に奄美大島は軍事要塞の島になっています。島の回りで小競り合いが行われると、島民はどこに逃げたら救われるのか、これまで西部方面陸上自衛隊「鎮西大演習」において「島嶼奪還訓練」が行われていますが、「島民有事避難訓練」は今だ、に行われていません。

日の丸の小旗を振る幼子が『防空頭巾』を被る島にならなければいいが、と祈る昨今です。

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会

《第6回総会 in 奄美》

県民投票、衆議院沖縄3区補選で相次ぎ沖縄の民意が示され、他方、政府は大浦湾の水深90mの海底の軟弱地盤をやっと認めました。そして地盤改良用に海砂調達が新たに浮上しています。しかし、政府は辺野古崎南側の埋め立て工事を強行しています。そして奄美では、陸上自衛隊駐屯地建設が進められています。このような中、「自然と文化を守る奄美会議」のご協力・受け入れて、土砂全協第6回総会が奄美大島で開催されます。みなさん、是非ご参加ください。

●5月25日(土) 会場…奄美サンプラザホテル

10:00~13:00 第6回定期総会

《1部》末田一秀氏問題提起「鹿児島県外来種対策条例をどう生かすか」

《2部》定期総会

14:00~17:00 奄美の歌声と記念講演

《奄美の歌声》 地元合唱団

《記念講演》 城村典文氏…奄美の自然と基地問題

湯浅一郎氏…九州・沖縄の海砂採取と辺野古

北上田毅氏…辺野古に基地は造れない

18:00~20:00 全体交流会

●5月26日(日) 島内一周視察

08:50 奄美サンプラザホテルロビー集合

09:00 出発 土砂採石場→自衛隊基地建設現場→世界自然遺産(国立公園)→

奄美空港(17時頃到着予定)→奄美サンプラザホテル(18時頃到着予定)





坂出バイオマス発電・西条火力リプレース 意見書提出、その後



環瀬戸内海会議幹事 吉岡賢二

❖ 坂出バイオマス発電

香川県環境影響評価条例に基づき、坂出林田バイオマス発電所(発電出力7万5千kw)の環境影響評価手続きが行われています。

再生可能エネルギーのひとつにバイオマス発電があります。バイオマスとは生物資源の意味で、例えば木質バイオマス(木材やパーム椰子殻など)。現在主流のバイオマス発電は、石炭・石油の代わりに木質バイオマスを燃焼させるもので、石炭・石油などの火力発電と仕組みは同じです。

バイオマス発電は二酸化炭素(CO²)を排出しますが、排出されたCO²は木材の成長により再び木材に戻るため、大気中のCO²濃度は変わらず、地球温暖化に影響しないという考えから、再生可能エネルギーに分類されています。

バイオマス発電が再生可能エネルギーと言えるのは、発電に利用するバイオマス量はその成長量を上回

らない場合で、意見書では、これを証明することを求めました。

香川県のHPによると、技術審査会が3回開かれています。議事録が非公開で議事内容は不明ですが、2018年10月23日に知事意見が公表されました。知事意見には「産出国における不適正な伐採を回避するため、海外から輸入する木質ペレットは、森林認証制度で認められたものを使用すること」と書かれています。このような知事意見は、私が知る限り初めてのことです。

知事意見公表から約6ヶ月が過ぎましたが、香川県、事業者とも情報がなく、進んでいるのか止まってしまったのか確認できない状況です。手続き状況は、以下の香川県ホームページで確認できます。

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/hozen/assess/surboc181023085043.shtml>

❖ 四国電力西条火力発電リプレース

石炭火電である四国電力西条発電所1号機リプレース計画(発電出力50万kw)の環境アセスメントが行われています。その準備書が2018年4月3日に公告され、意見書を作成し提出しました。意見書は、過去に四国電力がインターネットで公表している資料などを元に作成し、個別具体的な内容としました。

そして2019年3月8日、四国電力ホームページで環境影響評価書が公表されました。評価書には提出された意見に対する四国電力の見解が書かれていますが、どれも一般的な回答に留まり、満足できる内容ではありません。そして、総合評価では「各種環境保全のための措置を講じることにより、実行可能な範囲内で環境影響を回避又は低減しており、国又は地方公共団体が定めている環境基準及び環境目標等の維持・達成に支障を及ぼすものではなく、本事業の計画は適正

であると評価」と、お決まりの文言で締め括られ環境影響評価手続きは終了しました。

報道によると、2019年6月ころ本体工事に着工するようです。環境アセスメントに記載された工事工程によると、工事期間は約4年間です。着工から約3年後(2022年)に試運転開始、4年後(2023年)に営業運転に入るようです。

環境影響評価書の公表は4月8日までのため既に読むことはできませんが、概要をまとめた「西条発電所1号機リプレース計画環境影響評価書のあらまし」は四国電力のホームページで読むことができます。

あらましへのリンクアドレスは以下の通りです。
https://www.yonden.co.jp/assets/pdf/energy/environment/topics/saijyo_replace_2019_03_08/saijyo_re_h32.pdf



4月24日、山口宇部パワーは、西沖の山発電所（仮称）新設計画の計画変更の検討および環境影響評価手続の休止を公表した。宇部市、山口県の環境審議会での審査は終了し、4月9日、県知事意見が提出された直後だけだった。驚くばかりだった。経緯を読み返すと、地域の歴史を踏まえた宇部市の力強い姿勢「市環境審議会は宇部方式を生み出したプラットフォームであり、SDGs(*)都市として持続可能な開発、発展に向けて取り組んでいる。今の世界の潮流とこの本市の歩みを相反するものにするわけにはいきません」（2018.12宇部市環境審議会、市長挨拶）が反映されているのかとも思う。また、3月、環境省が表明した省エネ法での「発電効率基準の道筋達成の厳格化」を受け止めたのかとも思う。いずれにしても、環境影響評価の手続きの中で意見書という紙礫が届いていることを実感した出来事だった。今後、酸素吹石炭ガス化複合発電の商用炉（広島県大崎上島町で実証試験中）の建設を検討するという。仕切り直した。

昨年12月、千葉パワー（中電・JFE）の蘇我石炭火力、計画中止、2019年1月千葉袖ヶ浦エナジー（九電・東ガス・出光興産）は共同開発を断念し、出光興産は事業から撤退。両事業とも「事業採算性が見込めない」という理由で、今後LNGへの燃料転換を検討するという。相次ぐ石炭火力の計画変更は、電力需要の減少、電力自由化の中での競争激化、総括原価方式での電気料金の決め方の見直し、パリ協定、石炭事業からの投資撤退の圧力等、いくつもの要因が複雑に絡んでいる。

福島第一原発事故以降、長期エネルギー需給見通し(2015年)まで、原

則40年廃炉の方針で減少する原子力による発電量をどの電源で補うか議論が続いた。現在の技術で発電コストと夜間の稼働を考えるとベースロード電源として、水力、バイオマス、石炭しかない。「高効率化によって、投入燃料を増やさず(=CO₂排出量を増やさずに発電電力量が増やせるため、その分で原発を代替することが可能)(長期エネルギー需給見通し関連資料)と、石炭火電の新增設を認めた。しかし、稼働40年以上の老朽化石炭火力を廃止しなければ、CO₂排出量は増加の一途をたどる。発電コスト優先の電力は、この矛盾を解消できないまま、石炭火力の廃止を先延ばしにした。やっと第6次エネルギー基本計画にある「非効率石炭火力のフェードアウト」での規制が始まろうとしている。

* SDGs=Sustainable Development Goals
「持続可能な開発目標」と訳される
2015年国連サミットで採択された国際目標

3 総合3 *13版S 2019年(平成31年)4月12日(金) 享利

石炭火力への融資半減へ

三菱UFJ方針 環境に配慮

三菱UFJファイナンスグループ(FG)が、石炭火力発電所への融資残高を2030年度までに最大5割減らす方向で決めた。二酸化炭素排出量の多い石炭火力は世界で見直しの機運が高まる。銀行の立場からも、数値目標を配した融資の姿勢をより明確にするべきだと判断した。

三菱UFJは国内外で約1兆円ある石炭火力への融資額を、30年度までに3割減らすと、7月から適用する方針だ。ドイツやオランダの環境NGOが昨年末にまとめた報告書によると、日本の銀行は石炭火力への融資額が多い。16年から18年9月までに、1位みずほFG128億米、1位みずほFG110億米、2位三菱UFJ99億米、3位三井住友FG92億米、4位三井住友FG42億米、5位みずほFG36億米、6位みずほFG36億米、7位みずほFG36億米、8位みずほFG36億米、9位みずほFG36億米、10位みずほFG36億米。

このため、各行は方針を転換中だ。石炭火力への融資基準を昨年公表した三菱UFJに続き、三井住友は、石炭火力の新規融資を、発電効率の高い案件に限るという。また、環境省が表明した省エネ法での「発電効率基準の道筋達成の厳格化」を受け止めたのかとも思う。いずれにしても、環境影響評価の手続きの中で意見書という紙礫が届いていることを実感した出来事だった。今後、酸素吹石炭ガス化複合発電の商用炉（広島県大崎上島町で実証試験中）の建設を検討するという。仕切り直した。

三菱UFJは、すでに契約した融資と政府と交渉中の案件などの例外を除いて石炭火力には原則として融資しないため、数値目標は残高が増えるものでも踏み込んだ姿勢となる。三菱UFJと同様な動きが他にも広がると、新設の石炭火力は融資を受けられず、事業が進まなくなる。

国連の持続可能な開発目標(SDGs)が広がり、海外事業を積極化する日本企業も地球温暖化対策などへの取り組みが厳しく問われている。石炭への投資とは逆に投資から遠く「ダイベストメント」の動きが、各国の投資家にも拡大している。この動きが、石炭への投資を押し下げ、脱炭素の新たな動きで、脱炭素の流れる世界が国内にも波及しそうだ。

(笹井雄太)

書評「もう『ゴミの島』と言わせない」



— 豊島産廃不法投棄、終わりなき闘い —

石井亨 著 A-5版 392頁 2018年3月28日 藤原書店 刊

環瀬戸内海会議事務局長 松本宣崇

思い起こせば、石井亨さんと初めて出会ったのが1996年4月、国の公害調停が暗礁に乗り上げていました。また皮肉にも、兵庫県警の摘発で豊島の産廃不法投棄が発覚したのが1990年11月、環瀬戸内海会議が1990年6月、結成された5か月後のことでした。

豊島での産廃持ち込みが浮上した1975年ごろ、まだ中学生だった石井さんが、豊島の産廃との闘いのなか90年代後半、キーパーソンとなり、1999年からの8年間は香川県議会議員として、あらゆる市民相談に応じ、ともに考え、行政側との協議をこなしてきました。その分野の広さに、私も唾然とするものでした。

しかし、その後ホームレスのような生活も経験することになったとか。08年ごろ、香川県議選の落選後、県内企業に履歴書を出したら、「県議8年」が「災い」し、「不採用」とは言わないが、ことごとく断られたと、本人から聞きました。

豊島の不法投棄産廃の大半は自動車解体くずで、都市部から持ち込まれたこと、都市部に住む専門家や学者が「豊島」を語りだす暴力性、「アートの島」それ自体、島内から内発したものでなく、「アートの島」となるや、人が押し寄せ島民の生活に支障をきたすこと、島内の土地所有権がいつの間にか島外に移転していること、そこには求められるモラル・倫理観を考えさせられます。書はまた、「島に住み暮らす」現場の人間から見た、「島の外」とりわけ都市そして都市部に暮らす人間たちがもたらす暴力を描いています。

96年4月以来、私自身ことあるごとに豊島に出

かけ、美しく豊かな豊島を取り戻すため何ができるか、それはどうあるべきか、を語り合ってきました。はたしてこの間、そのために少しでも役立ったのだろうかと思わざるを得ません。

書は単なる「闘争史」ではありません。40余年に及ぶ豊島の産廃との闘いと、ヤギや鶏を飼い農業を営み、その将来に夢を見ながら、闘いを避けて通れなかった石井亨という一人の人間の生きざまと理解して頂きたいと思います。

刊行日「3月28日」にも意味があります。2017年3月28日は、香川県が豊島に不法投棄された産業廃棄物の「完全撤去」を宣言した日です。

しかし、18年になって早々から、現場各所で産廃汚泥が発見され、その量、現在まで610トン。しかし、直島の熔融処理施設はすでに解体作業に入っており、香川県は現在、処理する場を他所に求めています。そのような現状にぜひ目を向けて頂きたいと思います。

- ①もう「ゴミの島」と言わせない 豊島産廃不法投棄、終わりなき闘い (石井亨著、藤原書店・3240円)
- ②マーシャル、父の戦場 ある日本兵の日記をめぐる歴史実践 (大川史織編、みずき書林・2592円)
- ③みな、やっとの思いで坂をのぼる 水俣病患者相談のいま (永野三智著、ころから・1944円)



寺尾 紗穂

書評委員を務めるなかで出会えてうれしかった一冊は①。「渦中の人々が、大抵局的に物事を見極め理解することは並大抵のことではない」、運動を引つ張った著者の実感と奮闘は、さまざまな現場で未来の方向に舵を切ろうとあがく者の支えとなるのではないかと。②はウオッチェ環境で餓死した日本兵の売明な日記をもとに編まれた一冊。多くの兵士が帰国する民間人に手紙を託したが、それも海に沈んだり、捕虜となれ

2018. 12. 29 朝日 読書欄

環瀬戸内海会議も好評取り扱い中です。
一冊 3,000円(消費税不要、送料は当会負担)で、全国どこへでも発送します。
環瀬戸内海会議 (Tel・FAX 086-43-2927) までご連絡下さい。



海岸生物調査について（お願い）



環瀬戸内海会議幹事 坂井 章

☆ 海岸生物調査を行っている皆さん! 調査結果が届いていません。

いくら調査を行っても、結果を整理し、記録していかななくては、調査の目的は半減します。

海岸での調査で、自然に触れ、遊んだり、新しい発見をしたり、カメノテなどを探したりして楽しむことも重要ですが、今年は、去年と比べて〇〇が減少したとか、〇〇が異常発生したとか・・・その時々状況を記録し、伝えていくことも重要です。

重複しても構いませんので、2018年の結果と併せて、過去のデータも、お持ちの方は送って下さるよう、お願いします。

これまで頂いたデータは、環瀬戸内海会議のホームページに掲載しています。

〔公開アドレス〕

<http://www.setonikai-japan.net/03seibutucyousa/cyousa-houkoku.html>

送 り 先

mail : kanseto-cyousa@setonikai-japan.net

郵送 : 〒738-0054 広島県廿日市市阿品4丁目21-5

環瀬戸内海会議 海岸生物調査担当 坂井 章

調査結果 待ってます!

今年も海岸生物調査を行います ぜひご協力を



2018.6.17 呉市長浜生物調査

2003年から開始した瀬戸内海沿岸の海岸生物調査、今年で17年目を迎えます。今年も呉市で故・藤岡義隆先生が1960年代から調査してきた地点(6カ所)で、2~3カ所の継続調査を行うことになっています(日時未定)。ぜひ、

各地での生物調査にご協力をお願いします。

瀬戸内海沿岸の生物調査、長年同一地点の生物調査、その変遷を集積していくことは、学問的にも大変貴重です。とかく、成果を求められ汲々とした研究を強いられる風潮、それを強いる政治的要請のなかで、このような積年の調査の集積といった基礎的調査データは余りにも軽んじられ、研究を担う大学や国の研究機関でも、進められていないのが現状です。

事実、故藤岡先生の呉市で長年積み重ねてきた「生物種の変遷」が、環境省の施策策定に引用されていることが何より雄弁に物語っています。

いささかブランクのある地域もあるかと思いますが、各地での生物調査をお願いします。

環瀬戸内海会議第30回総会 in 岩国のご案内

— 瀬戸内海の基地と原発、そして沖縄 —

日程 6月29日(土)～30日(日)

場所 岩国市福祉会館3F 小ホール (岩国市麻里布町7-1-2)

スケジュール

29日 13:00～ 総会記念 講演&パネルディスカッション 18:00～ 懇親会

30日 09:00～ 第30回総会 13:00～ フィールドワーク(岩国基地、愛宕山)

岩国は、世界規模で見ても飛躍的な基地強化がなされており、それを学ぶのも意味はありますが、環瀬戸総会という意味では、基地埋め立てに伴う藻場・干潟回復事業を振り返る機会にすべきかと思えます。これについては別途、調査することが必要です。 共同代表 湯浅一郎

第30回総会は、元・岩国市議 田村順玄さんのご協力を得て山口県岩国市で開催します。

☆☆ 各地からのご案内 ☆☆

◆5月21日(火) 岡山御津・西日本アチューマツト請求異議訴訟第7回口頭弁論 11:00 岡山地裁

◆5月25日(土) 辺野古新基地建設を許さない! 国会包囲行動(14:00～ 国会周辺)・全国総行動

◆5月25日(土)～26日(日) 辺野古土砂全協第6回総会 in 奄美 会場 奄美サンプラザホテル(奄美市名瀬港町2-1) 25日10:00～ 第6回総会 14:00～ 奄美の歌声と記念講演 18:00～ 全体交流会 26日09:00～ 島内一周視察 ◆6月3日(月) 学ぶ! 市民の広場・第二講「オールオキナワ」とは何か? その歴史は?—選挙・県民投票・沖縄の民主主義— 18:00～ 愛媛県総合福祉会館(松山市持田町3) 講師: 浦島悦子(島ぐるみ会議名護) 参加費: 800円 主催: 市民の広場(愛媛)(問合せ先・松尾京子 TEL090-6147-1676)

◆6月10日(月) 「STOP! HENOKO」請願署名第一次提出 & 報告集会 15:00～ 衆議院議員会館 ◆6月12日(水) 岡山御津・エヌエヌ日進産廃処分場計許可取消請求第6回口頭弁論 11:00 岡山地裁 ◆7月9日(火) 岡山御津・西日本アチューマツト請求異議訴訟 第8回口頭弁論 13:30 岡山地裁 ◆8月2日(金) 学ぶ! 市民の広場・第三講「瀬戸内海にある原発と基地と私たちの暮らし」—伊方原発・上関原発計画・岩国基地そして沖縄— 18:00～ 松山市コムズ4階視聴覚室 講師 湯浅一郎(環瀬戸内海会議共同代表) 参加費: 800円 主催: 市民の広場(愛媛)

◆8月2日(金) 学ぶ! 市民の広場・第三講「瀬戸内海にある原発と基地と私たちの暮らし」—伊方原発・上関原発計画・岩国基地そして沖縄— 18:00～ 松山市コムズ4階視聴覚室 講師 湯浅一郎(環瀬戸内海会議共同代表) 参加費: 800円 主催: 市民の広場(愛媛)



環瀬戸内海会議HPアドレス
<http://www.setonaikai-japan.net>
「環瀬戸内海会議」で検索して下さい。辺野古土砂全協の活動資料等も見ることができます。

2019年度会費納入のお願い

年会費(一口) 個人4,000円 団体10,000円

— 何口でも可 —

非礼と思いますが、会費等を納入頂いた方にも振込用紙を同封しています。環瀬戸内海会議の活動は、主に年会費とカンパで賄われていることにご理解をお願い致します。

カンパ熱烈大歓迎!! です。環瀬戸内海会議は30年目に入ります。会費のお納めをお願いします。

瀬戸内トラストニュース第71号 2019年5月10日/発行責任者 松本宣崇

環瀬戸内海会議 共同代表 阿部 悦子(愛媛県) 湯浅 一郎(東京都)

Eメール nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp

HPアドレス <http://www.setonaikai-japan.net/>

会費等振込先 郵便振替 口座No 01600-5-44750 名義 環瀬戸内海会議

銀行など他の金融機関からのお振込みは、ゆうちょ銀行169店 当座 0044750 カンセトナイカイカイギ まで

海岸生物調査のお願い

みんなで見つめる「瀬戸内海」渚の生物ウォッチング
皆さん近くの海岸の健康度をチェックしませんか！

環瀬戸内海会議・瀬戸内法プロジェクトでは、住民による海岸生物調査を2002年度から開始し瀬戸内海全域で実施しています。河川では水性生物の種類でその河の健康度（汚れ具合）をチェックする方法は確立されていますが、海健康度を海岸生物でチェックすることは殆ど行われていません。この調査の継続的実施は非常に重要な資料となります。

今年も春から夏の大潮の時期に海岸生物一斉調査を予定しています。皆さんのご協力で各地での調査の継続をお願いします。

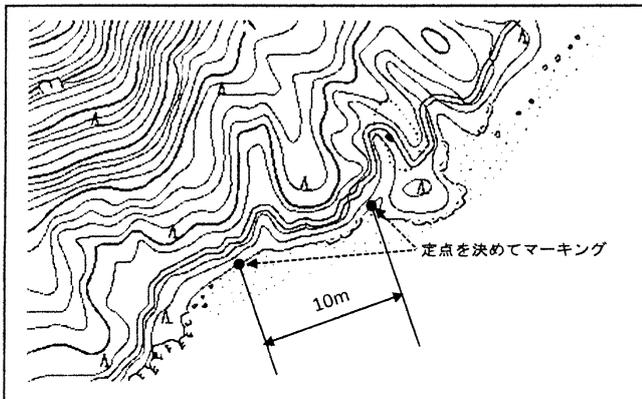
調査日時の決定には、もよりの潮時表を参照してください。

調査方法

① 個体数の調査

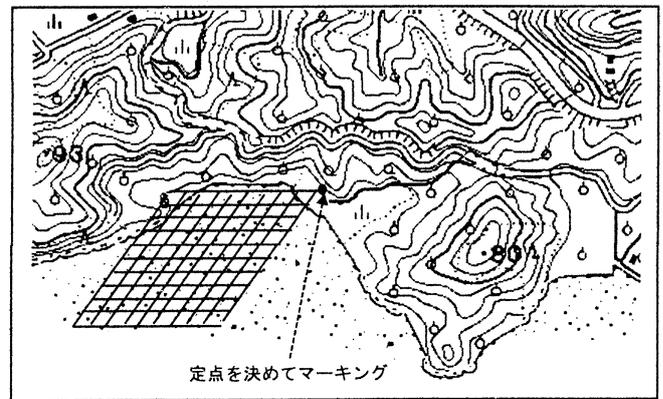
イボニシ・カメノテ

海岸10mの範囲で個体数を数える。



アサリ

調査定点内からランダムに2～3箇所を決めて1㎡内の個体数を平均する。



② 指標生物の確認 次の生物の有無を確認する。

海岸生物：カメノテ、イボニシ、オオヘビガイ、クロフジツボ
マガキ、ケガキ、ムラサキイガイ、ムラサキウニ

海藻：アマモ、アナアオサ

③ その他確認できた海岸生物名をわかる範囲で記入してください。

※調査結果は裏の調査表に記入し、下記の海岸生物調査担当・坂井まで送って下さい。

また、調査地点を記入した地図を添付して頂けると助かります。

送り先

mail : kanseto-cyousa@setonaikai-japan.net

郵送 : 〒738-0054 広島県廿日市市阿品4丁目21-5

環瀬戸内海会議 海岸生物調査担当 坂井 章

海岸生物調査表 (年)

調査日時		調査	氏名	
調査地点住所		責任者	連絡先	
浜、磯の通称		調査人数		

※調査地点がわかる地図を添付してください。

個体数の調査(定点での)

個体数		潮の種類	
カメノテ	(個/10m)	干潮時間	
イボニシ	(個/10m)	潮位	
アサリ	(個/1㎡)	天気	

指標生物の確認(見つかったら多い・少ない・いないのどれかを○で囲む)

カメノテ			イボニシ			オオヘビガイ			クロフジツボ		
大きさ4cm。岩礁帯の割れ目に密集して付着している。			大きさ3cm。潮間帯の岩礁に見られ、殻の口の中が黒っぽい。			大きさは5cm。潮間帯の岩の上にしっかりついている。			大きさ1cm。岩礁帯についています。		
多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない
マガキ			ケガキ			ムラサキガイ			ムラサキウニ		
大きさ20cm。岩、くい、防波堤などにつく。			大きさ10cm。殻の表面にパイプ状の突起がある。			大きさ8cm。潮間帯の防波堤、岸壁などに群がってつく。			大きさ7cm。各地の岩礁に見られ、トゲは強く表面はなめらか。		
多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない	多い	少ない	いない
アマモ			アナオサ			その他の見られた生物及び気付いたこと					
大きさ0.5~1m。沿岸の内湾にみられる。			大きさ20~30cm。潮間帯の下に繁茂し、大小の穴ができる。								
多い	少ない	いない	多い	少ない	いない						

- ◎ 個体数の調査 イボニシ、カメノテは海岸10mの範囲で個体数を数える。
アサリはランダムに2~3か所を決めて、1㎡内の個体数を平均する。

《参考》上記の他に確認できた生物に○を付けてください。

- カニ類 ハクセンシオマネキ、スナガニ、コメツキガニ、イソガニ、オサガニ、マメコブシガニ
- ヒトデ類 アカヒトデ、マヒトデ、イトマキヒトデ、ニホンクモヒトデ
- マキ貝類 タマキビ、スガイ、イシダタミ、コシダカガンガラ
- カサ貝類 マツバガイ、ヒザラガイ、ウノアシガイ
- その他 イソギンチャク類、カサネカンザシ、バフンウニ、カシパン類

この表は環瀬戸内海会議が実施している調査表です。
初心者の方でも容易に参加できますので、是非、干潟で遊びながら調査してみてもは。(*^^)v

環瀬戸内海会議第30回総会 in 岩国開催要項

— 瀬戸内海の基地と原発、そして沖縄 —

日時 2019年6月29(土)～30日(日)

会場 岩国市福社会館3階小ホール (岩国市麻里布町7-1-2 Tel 0827-22-5877)

宿泊先 シティホテル安藤 (岩国市麻里布町1-4-3 Tel 0827-22-0110)

スケジュール

29日(土) 12:30～ 受付

13:00～ 総会記念 講演&パネルディスカッション

講演「瀬戸内海の基地と原発、そして沖縄」 (講師:湯浅一郎)

報告① 田村順玄さん「岩国基地の抱える諸問題」

報告② 清水敏保さん「上関原発反対運動の今、そしてこれから」

報告③ 大谷正穂さん「辺野古埋立て用土砂をめぐる自治体の広域連携」

18:30～ 懇親会 ミライザカ (宿泊先:シティホテル安藤の西隣)

30日(日) 09:00～ 第30回総会

13:00～ フィールドワーク(岩国基地、愛宕山など)

*29日午後、30日午前の会場は同じです。

諸経費

参加費 1000円

宿泊費 シングル 4800円(税込) ツイン 4500円(税込)

和室(4人部屋) 3800円(税込) いずれかをお選びください

30日朝食 600円(税込) ~予約制 和食になります

懇親会費 3800円(税込)

フィールドワーク 1000円

* 自家用車でご参加の方、ホテルに駐車場を予約しています。事前にお申し出下さい。

* また、フィールドワークに車両の提供をお願いします。

参加ご希望の方は、裏面の参加申込書各欄に○印を付けて6月15日必着で、環瀬戸内海会議事務局までお申し込み下さい。FAX、Eメール、郵送、いずれかをお願いします。

なお、お支払いは、6月29日の会場受付で受領させていただきます。

申込・問合せ先 環瀬戸内海会議 事務局

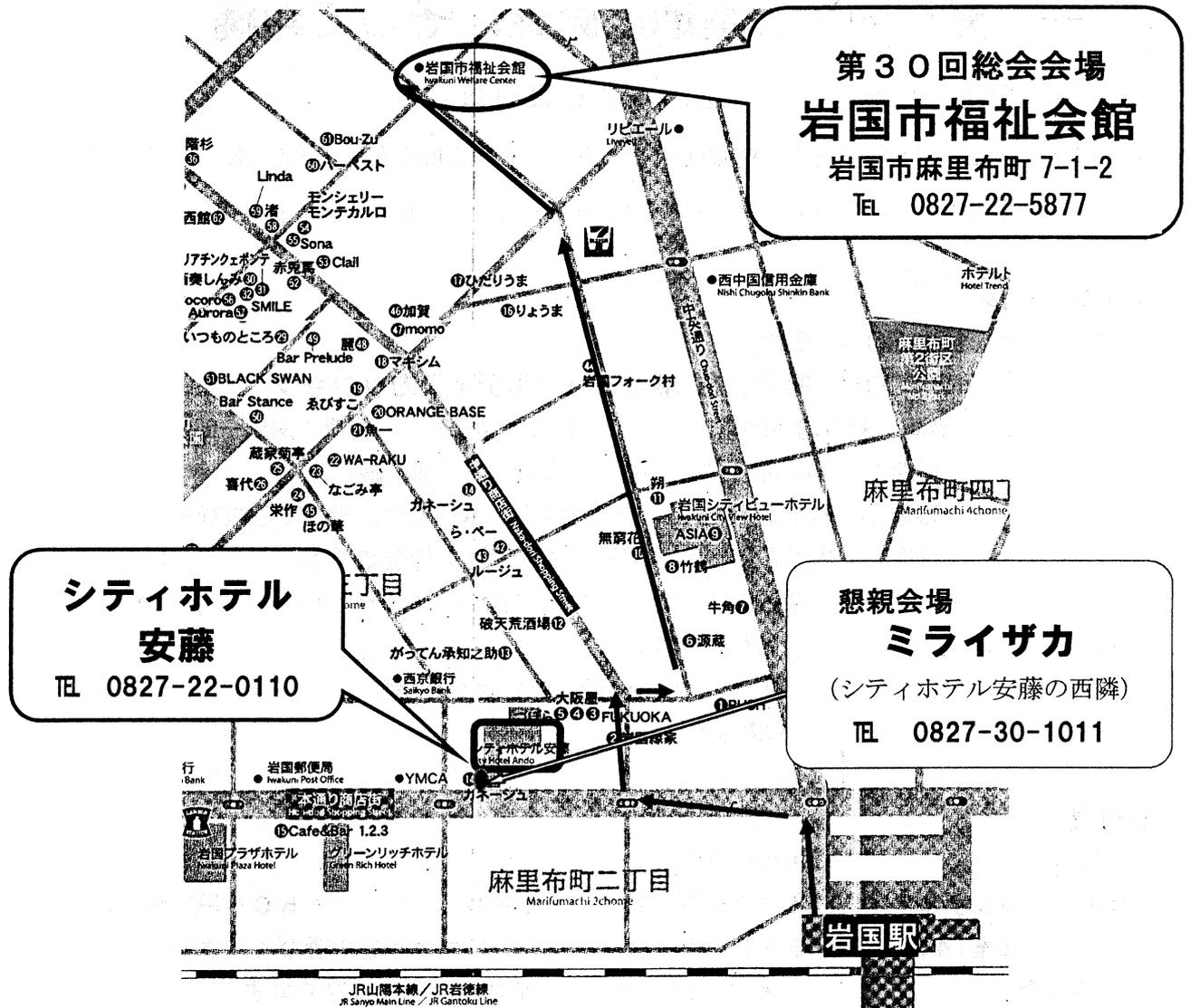
参加申込書は裏面

700-0973 岡山市北区下中野318-114 松本方

Tel・Fax 086-243-2927 Eメール nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp

現地協力団体: 田村順玄さん(元岩国市議) ピースリンク広島・呉・岩国)

環瀬戸第30回総会会場・宿泊先・懇親会場周辺案内図



切り取り

環瀬戸内海会議第30回総会参加申込書

空欄に○印をつけ、合計金額を記入してください

参加費	懇親会費	宿泊費			30日朝食	オプション	合計
		シングル	ツイン	和室			
1,000	3,800	4,800	4,500	3,800	600	1,000	

お名前 _____

ご住所 _____

TEL _____ FAX _____

Eメール _____@_____